

一宮市 *D*X 推進計画_{2.0}

～ X（トランスフォーメーション・変革）ファースト ～



総務部情報システム課

※DX…デジタルトランスフォーメーションの略、デジタル技術を活用し社会の価値創出のために事業等を変革すること

目次

1 計画の概要

- 1.1 本計画の目的と位置づけ … 1
- 1.2 計画推進体制 … 2

2 取組事項

- 2.1 ビジョン … 3
- 2.2 重点項目 … 5
- 2.3 個別施策 … 14

3 推進体制

- 3.1 これからの推進体制 … 15
- 3.2 目標設定 … 17
- 3.3 評価・見直し … 18



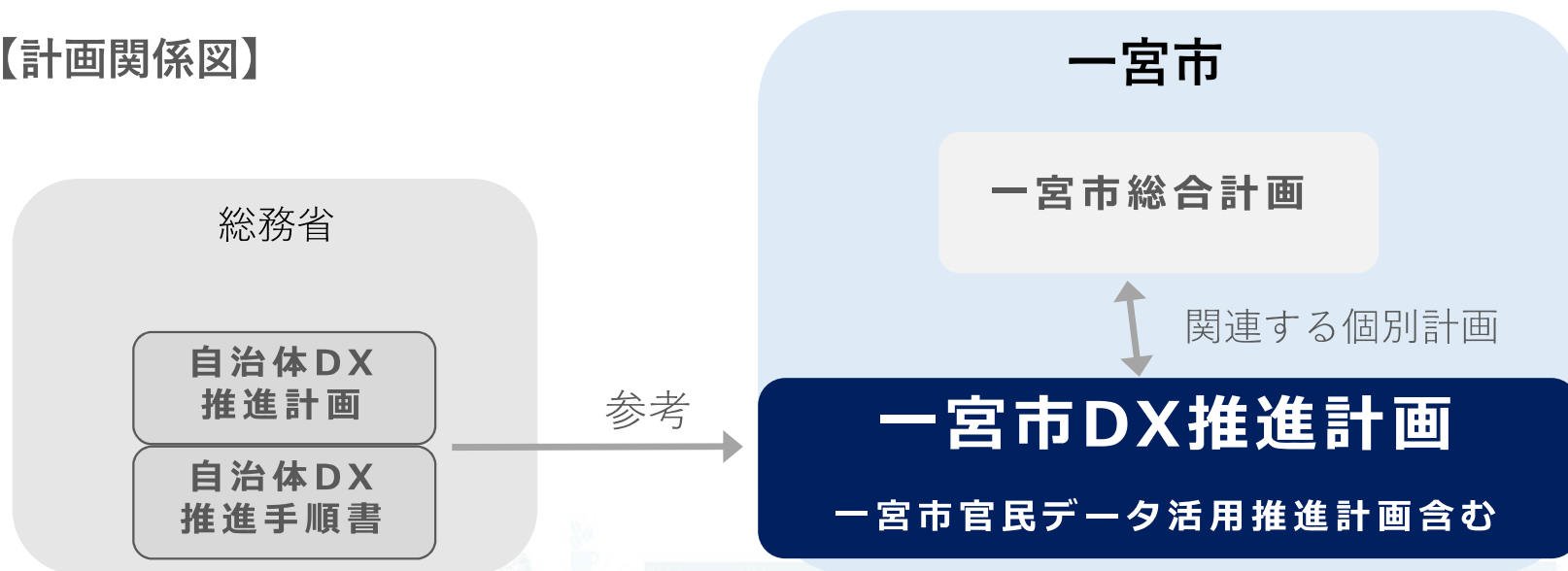
1 計画の概要

1.1 本計画の目的と位置づけ

本計画は、本市が目指すべきDXの方向性を示す計画として、住民サービスの向上、行政運営の効率化、地域社会の活性化を実現するための具体的な目標や手段を定めることを目的とします。

また、本計画は、「一宮市総合計画」に関連する個別計画の1つであり、総務省が策定した「自治体DX推進計画」及び「自治体DX推進手順書」の内容を踏まえ本市のDX推進に関する課題に対応する指針として位置づけます。

【計画関係図】

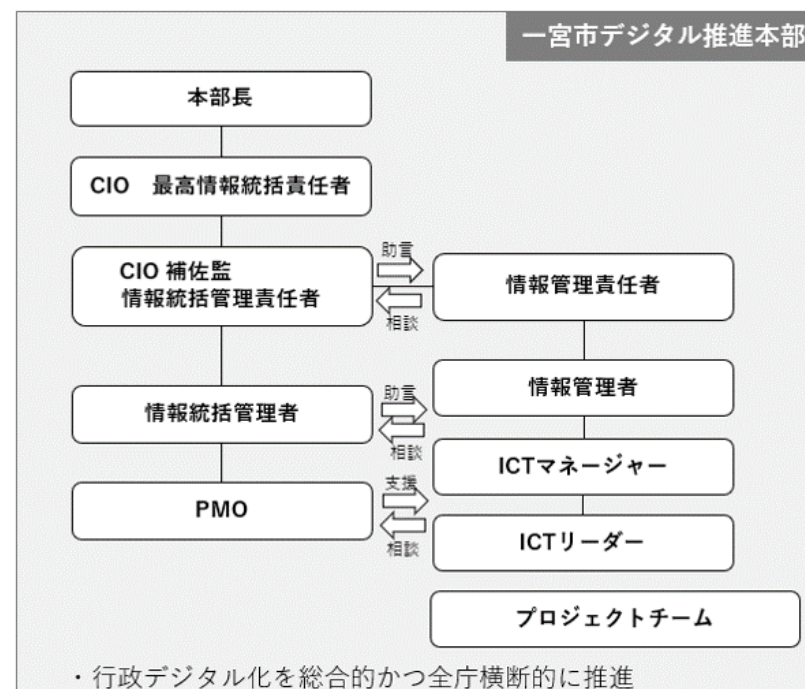


1 計画の概要

1.2 計画推進体制

本市は、市長を本部長とする「一宮市デジタル推進本部」において、「一宮市DX推進計画（一宮市官民データ活用推進計画含む）」に基づいたDXに関する事項の協議・意思決定を行っています。

2024年7月には、産学官連携のコンソーシアム「一宮スマートシティ推進協議会（愛称：i-スマ）」が発足しました。i-スマでは、データ連携基盤を活用した新たなサービスの創出を実現し、様々な分野における地域課題の解決が期待されます。

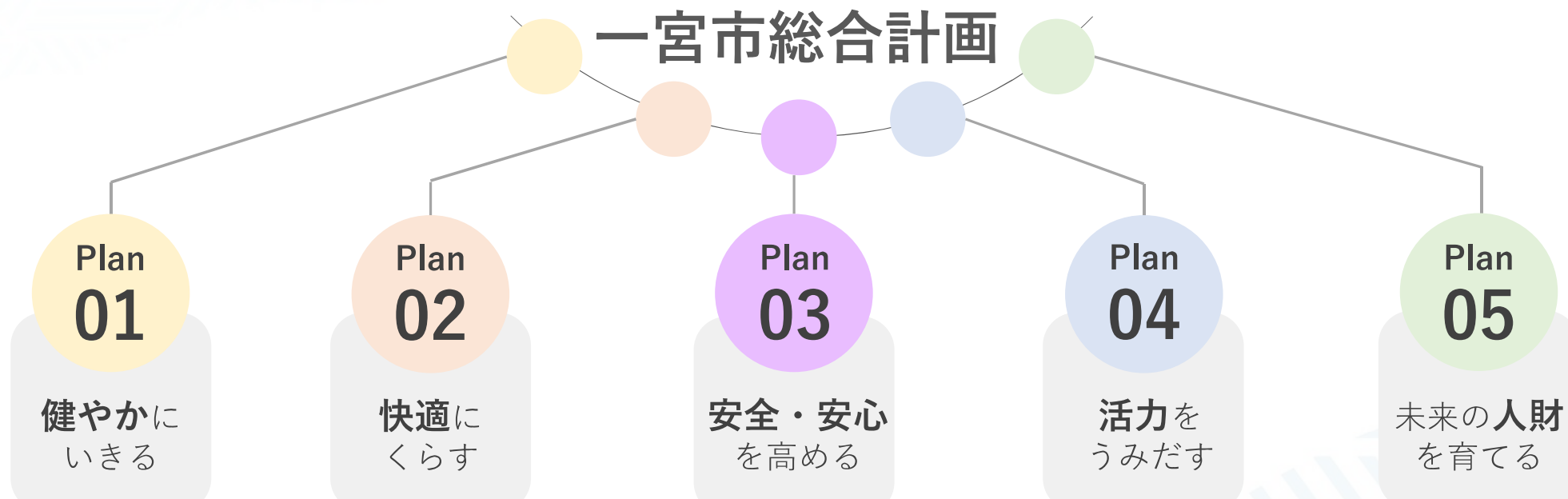


前計画（2020-2025年度）で実施した施策等から継続する取組については、今計画にも掲載して、引き続き実現を目指していきます。

2 取組事項

2.1 ビジョン

一宮市総合計画との関係



DX

本格的な人口減少、少子化・超高齢化社会に差し掛かる中でも、質の高い行政サービスを維持するため、「一宮市総合計画」における5つのプラン全体を、DXにより支える計画として位置付けます。

2 取組事項

2.1 ビジョン

本計画のビジョン

い まのやり方が最適か、常に考えます

DX×BPR※マインドの醸成

ち (血) と汗と涙で仕事をせず、スマートな働き方を目指します

DXによるスマートワーキング

の うりよく (能力) を発揮できる環境を整備します

生成AIの活用・新技術導入

み んながハッピーになる取組みを実施します

DX×BPRによる市民の利便性向上・職員の負担軽減

や くしん (躍進) するデジタル人材を育てます

デジタル人材の育成

※BPR…Business Process Re-engineeringの略、プロセスの観点から業務フローや組織構造などを再構築し、業務改革すること

2 取組事項

2.2 重点項目

国が定める取組事項

1.1 自治体フロントヤード改革の推進

人口減少や少子高齢化の進行による働き手の減少が懸念される中、多様化する市民のニーズに応えるために、書かない窓口やオンライン申請等の取組みを継続し、行政手続における市民の利便性向上に努めます。

市がオンライン申請・届出で受け付ける行政手続オンライン化率**100%**を達成します。

また、可能な限り制度の自動適用を目指し、申請が必要な場合でもオンライン申請したくなるようなサービスの設計により、オンライン化利用率を向上させるとともに、一連の業務フローを点ではなく線や面で捉えて（※）、オンライン申請受付業務全体を自動化するなどバックヤード改革も実施します。



書かない窓口



※点ではなく線や面で捉えて・・・市内の水平連携や他自治体との広域連携につなげる意味合い

2 取組事項

2.2 重点項目

国が定める取組事項

1.2 地方公共団体情報システムの標準化

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、2025年度に一部の特定移行支援システムを除き、標準準拠システムへの移行を実施しました。

今後は標準準拠システムの安定稼働とともに、特定移行支援システムの標準準拠システムへの移行を2030年度までの期限内に実現させます。また、標準準拠システム利用料及びガバメントクラウド利用料の運用経費の負担低減に努めていきます。

1.3 「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に基づく共通化等の推進

国は、急激な人口減少による担い手不足に対応し、デジタル技術の活用による公共サービスの供給の効率化と利便性の向上を実現するため、国の「デジタル行財政改革会議」の下に国及び地方3団体の代表による「国・地方デジタル共通基盤推進連絡協議会」を設置し、「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」を策定しました。

本市はこの協議会に、全国市長会の代表として参画し、上記基本方針の策定に携わりました。また、共通化するシステムの候補の選定にも携わっています。

2 取組事項

2.2 重点項目

国が定める取組事項

1.4 公金収納におけるeL-QRの活用

2023年4月から「地方税統一QRコード(eL-QR)」を用いた仕組みによる地方税の電子納付が始まっていますが、その他の公金についても2026年9月からeLTAXを活用した公金納付が可能となります。

本市においては、地方税は一部を除き電子納付が可能となっており、その他の公金についても、可能な限り早期にeL-QRを活用した公金収納が可能となるよう、納付書を発行する業務システムの改修等の対応を進めます。



エル キューアール eL-QR

簡単

いつでもどこでも
キャッシュレス納付

都道府県・市区町村から届いた納税通知書や納付書に
eL-QRはありませんか？

利用できる
スマホ決済アプリの一覧は
こちら

\\ 選べるお支払方法 1 //

☑ スマホから
「〇〇ペイ」
「〇〇払い」で
納付したい

- ・au PAY
- ・d払い
- ・PayPay
- ・楽天ペイ など

STEP 1
スマホ決済
アプリを起動

STEP 2
納付書
eL-QRを
読み取り
※読み取り後に表示される
金額等を確認してください

STEP 3
支払を実行
納付完了！

7

2 取組事項

2.2 重点項目

国が定める取組事項

1.5 マイナンバーカードの取得支援・利用の推進

マイナンバーカードは、オンラインで確実に本人確認ができるため、様々な利活用がされています。また、健康保険証、運転免許証との一体化が進んでおり、デジタル社会の基盤となるものであることから、引き続き取得申請を促進します。

本市においては、尾張一宮駅前ビル（i-ビル）「**いちのみや駅ナカプラザ**」において土曜日・日曜日・祝休日に交付・電子証明書の更新等窓口の開設(事前予約制)を行っています。また、デジタル庁が実施する**PMH**(Public Medical Hub)先行実施事業に参加し、マイナンバーカードを各種医療費受給者証として利用できる環境を整備しています。

今後は、マイナンバーカードの利活用により市民の利便性の向上及び業務負担の軽減の実現を目指します。



いちのみや駅ナカプラザ

2 取組事項

2.2 重点項目

国が定める取組事項

1.6 セキュリティ対策の徹底

総務省が示す「地方自治体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を踏まえた「一宮市情報セキュリティポリシー」を策定し、情報セキュリティ対策の徹底に取り組みます。

本市においては、今後利用拡大が見込まれるSaaSサービス等の外部サービスの利用を見据え、「外部サービスの利用に関するセキュリティ管理基準」を策定し、外部サービスの安全な利用を徹底しています。

社会の進展に伴い、サイバーセキュリティ対策（外部からの攻撃に対する対策）の重要性がますます高まるため、セキュリティ対策も進化させるとともに、セキュリティに関する最新情報の把握及び対応に努めます。

2 取組事項

2.2 重点項目

国が定める取組事項

1.7 自治体のAIの利用推進

生成AIをはじめとするAIを使用したツールの飛躍的な進歩は、行政においても業務改革に欠かすことのできないものとなっています。

本市においては、2020年度に、AI-OCR、チャットボット、AI多言語翻訳機を導入したことを皮切りに、2023年度にはAI電話自動応答サービス、2024年度にはLGWAN環境内で利用できる生成AIサービス、2025年度にはAI議事録作成サービスを導入しました。

今後、目覚ましい技術革新とともに、生成AIの性能が進化し続けることが予想され、それを職員が正しく使いこなしつつ、機密情報や個人情報等の漏洩といった事故等を生じさせないように情報リテラシー（活用能力）向上の研修等を継続的に実施します。また、生成AI利用ガイドラインを作成して、生成AIの利活用を積極的に進めます。

また、職員による創意工夫による行政サービスの革新的な進化にも期待し、AIを活用したトランスフォーメーションである「AX」の展開も視野に入れていきます。

2 取組事項

2.2 重点項目

市が定める取組事項

2.1 DX人材の確保・育成

総務省の「経営・財務マネジメント強化事業」や「地域情報化アドバイザー派遣制度」による講師派遣や、J-LISの動画研修等の教材を活用し、DXに必要な知識を習得するための研修を実施してきました。

今後は、これまでの意識醸成に力を入れたデジタル人材育成を進化させ、DX施策の実現・実装ができる人材の育成を行います。

また、近隣や同規模の自治体と協力した育成体制を構築し、お互いのDX人材育成研修に参加して、知見を高めるとともに、合同で職員DX意識調査を実施して、自団体の強みや弱みを把握して、研修計画に反映させます。

今後もさらにこの体制を発展させ、職員の一層の資質向上に努めます。

DX人材育成計画については、本計画個別施策で定めます。

2 取組事項

2.2 重点項目

市が定める取組事項

2.2 データ駆動型行政組織への転換

ビッグデータや国が整備を進めているベースレジストリ等の外部のデータに加え、庁内で蓄積されているデータを活用することで、一層便利な行政サービスの提供と、EBPM※をふまえての意思決定への転換を目指します。

住民向けのサービスにおいては、地域DXを推進するため、データ連携基盤(都市OS)を導入し、個々の行政サービスが持つ様々なデータを横断的に収集、連携するとともに、産学官連携によるコンソーシアム「一宮スマートシティ推進協議会(i-スマ)」を形成し、新たな市民サービスの検討・実装を進めることで、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感(Well-being)」の向上を図ります。

その上で、データ連携基盤と国が整備を進める公共サービスメッシュ、マイナポータル等との連携を検討していきます。

※EBPM…Evidence Based Policy Makingの略、データなどのエビデンスを基に政策を決定すること

2 取組事項

2.2 重点項目

市が定める取組事項

2.3 最新技術の活用

近年目覚ましい進化を遂げているAIやドローンのような最新の技術は、行政運営においても様々なシーンで活用できるため、活用できる人材を育成し、慎重を期しつつ、いたずらに恐れることなく新技術・サービスの導入を図ります。

現在は災害時におけるドローンの活用が可能な体制を整えていますが、今後は平時においても活用できるよう、利用の拡大を検討していきます。

ただし、最新の技術やツール、サービスを導入しても、職員が使いこなせなければ、意味がありません。研修等の教育や訓練などを通じて職員の情報リテラシーの底上げを図り、最大の効果を発揮できるように、DX人材育成と並行して推進していきます。

2 取組事項

2.3 個別施策

一宮市DX推進計画別冊参照

個別施策は別冊で管理します



3 推進体制

3.1 これからの推進体制

1. デジタル推進本部

市長を本部長とする一宮市デジタル推進本部を継続し、引き続き一宮市全体のDXに関する方針や実施内容に関する意思決定を行います。

一方で、現場においては、各課に配置しているICTマネージャー（管理職）、ICTリーダー（管理職以外）について、現在の指名方式から、意欲ある職員の参画を見据えたハンズオン形式に変更するなど、DXの推進力を高める体制づくりを行います。

2. 一宮スマートシティ推進協議会（愛称：i-スマ）

2024年7月に発足した「一宮スマートシティ推進協議会（愛称：i-スマ）」を継続し、引き続き市民の利便性向上のため、データ連携基盤を活用したサービス・アプリ等の提供を行います。同時に、i-スマの会員を引き続き募集し、提供するサービスの幅を一層拡大していきます。

3 推進体制

3.1 これからの推進体制

3.他自治体との連携

自治体DXを取り巻く環境は、今後一層大きな変化が起こることが予想されるため、これまで以上に近隣自治体との連携による情報交換や共同での取り組みが重要です。

当市は2023年度から、同じ中核市である岐阜市との「ゆるやかな連携～NOBIプロジェクト～」による人材交流や情報交換を盛んに行っています。

また他の県内近隣自治体と協力して、お互いのDX研修に参加するなど、職員の研鑽のために相互に協力しています。

また、職員の「DX意識調査」を、2024年度は稲沢市・小牧市と3市合同で実施し、2025年度は岩倉市・あま市を加えた5市の合同で実施し、結果について分析・比較を行いました。

こうした連携を今後も継続・拡大し、自治体DXの推進力を相互に高め合っていきます。

3 推進体制

3.2 目標設定

1.進捗管理指標の考え方

本計画は中長期的に継続的な取り組みが見込まれ、デジタル重点計画等の政府文書に計画期間が定められていないことから、計画期間は設定しないこととします。その上で、着実に計画的にDX推進に取り組むために、更新や見直しを継続的に実施します。

個別施策の進捗管理指標は、DX推進の進捗を確認するのに有効かつ具体的な数値とします。ただし、長期にわたる継続的な施策など、数値化できない施策もあることから、抽象的な指標も可能とします。

【進捗管理指標の例】

- ・市民の利用件数
- ・オンライン申請率
- ・市民の手続きに要した時間削減数（申請者）
- ・職員の申請処理に要した時間削減数（職員側）
- ・連携、共同利用する自治体数
- ・講習会の開催日数・・・など

3 推進体制

3.3 評価・見直し

1.進捗管理指標の確認

各取組みに対して設定した目標は、毎年1回、状況を確認し、記録していきます。

その段階で、目標値との乖離を確認し、順調に推移しているのか、想定と異なる状況なのかをチェックします。

2.計画及び取組みの見直し

時勢の変化等により計画の記載内容の達成が困難となったり、記載内容の陳腐化または新たな課題等の発生、目標の追加の必要があるなど、進捗管理指標との乖離が大きいことが把握された場合等には、計画内容を見直します。

その上で、具体的な取組み内容にも影響がある場合は、各取組みの内容も併せて見直します。

また、各取組みの進捗状況をチェックする中で、その取組みの継続要否、継続する場合でも取組みの一部を変更する必要の有無を検討します。その結果、見直しが必要であると判断された場合にも、適宜取組み内容の見直しを行います。

改訂履歴

	作成時期	内容
初版	2022年2月	策定・公表
第1.1版	2023年5月	改訂
第1.2版	2024年3月	改訂
第1.3版	2025年3月	改訂
第2.0版	2026年3月	全面改訂

一宮市 *D*X 推進計画_{2.0}

～ X（トランスフォーメーション・変革）ファースト ～

別冊



総務部情報システム課

※DX…デジタルトランスフォーメーションの略、デジタル技術を活用し社会の価値創出のために事業等を変革すること

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

情報システム課

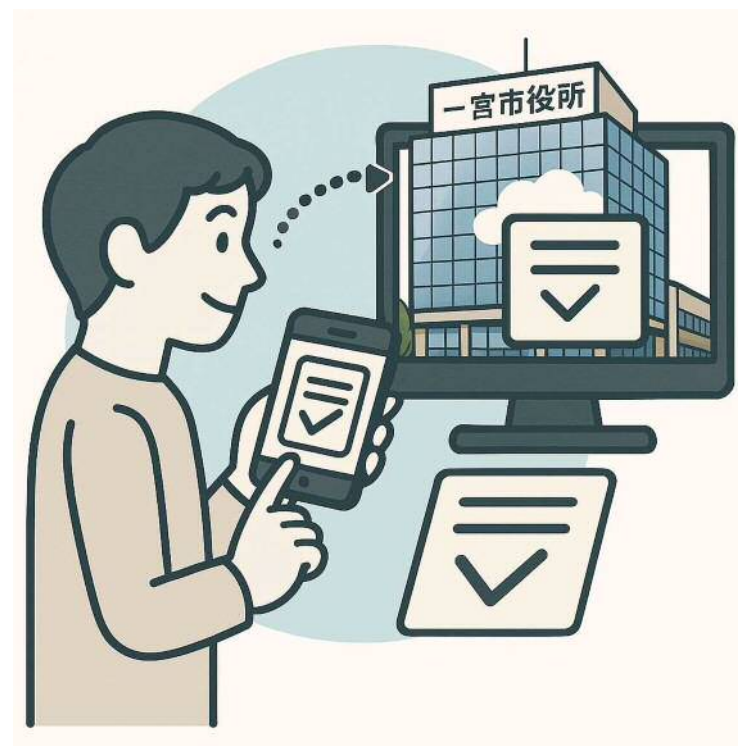
電子申請の利用促進

取組の方向性

行政手続オンライン化100%（約1600手続）
を達成し、オンライン利用率を上げる

主な取組内容

ぴったりサービス、あいち電子申請・届出システム、簡易申告システムを活用して、行政手続オンライン化を進め、オンライン利用率を向上させる。



進捗管理指標

行政手続オンライン利用率

現状値

26.0%

目標値（2030年度）

50.0%

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

スポーツ課
公園緑地課

公共施設等のオンライン予約

取組の方向性

一宮市スポーツ・公園施設予約システムの
継続的な利用推進

主な取組内容

市スポーツ施設及び市公園施設等の予約、
抽選



進捗管理指標
オンライン予約
申請率

現状値
99.6%

目標値（2030年度）
100%

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

図書館管理課

図書蔵書検索システム

取組の方向性

市立図書館蔵書システム
の継続的な利用推進

主な取組内容

市立図書館の蔵書がインターネットを通
じて予約、確認ができる。



進捗管理指標
資料をWEBで
予約した割合

現状値
75.3%

目標値（2030年度）
80.0%

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

市民課
市民税課

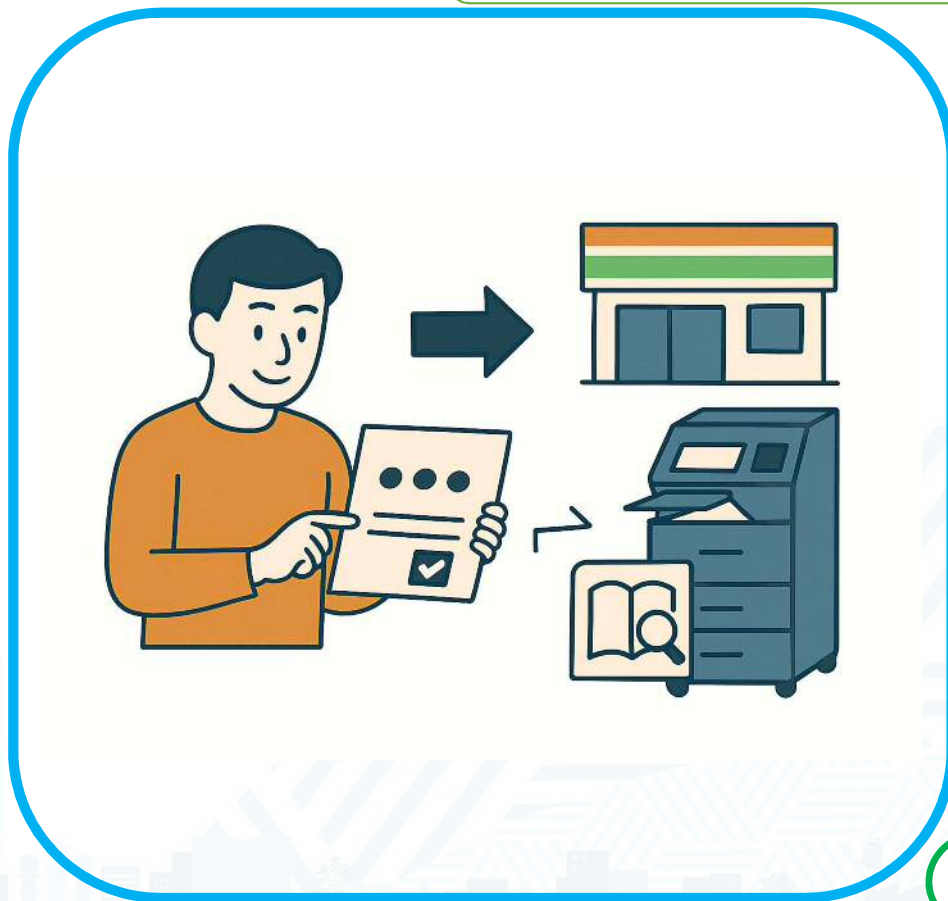
住民票等のコンビニ交付

取組の方向性

住民票・所得課税証明書等のコンビニ交付
の利用推進

主な取組内容

住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の附票の写し、所得課税（非課税）証明書のコンビニ交付



進捗管理指標

コンビニ交付
利用率

現状値

税以外55.0%
税証明41.0%

目標値（2030年度）

税以外65.0%
税証明50.0%

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

市民課

書かない窓口（スマート窓口）

取組の方向性

書かない窓口の利用推進による市民の
利便性向上

主な取組内容

住民異動の手続きにおいて、タブレット
端末を利用して、電子ペンによる1回の
サインで必要な書類をまとめて作成



進捗管理指標
スマート窓口
設置箇所

現状値
3か所

目標値（2030年度）
6か所

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

市民課

書かない窓口（おくやみ窓口）

取組の方向性

おくやみ窓口利用推進による遺族の利便性向上

主な取組内容

死亡届提出後の市役所での手続きに必要な事項を、予約時に入力することで窓口での滞在時間を短縮し、遺族の利便性向上を図る。



進捗管理指標

指標なし

現状値

—

目標値（2030年度）

—

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

市民課

オンライン出生届

取組の方向性

オンライン手続きによる市民の利便性向上

主な取組内容

出生届についてマイナポータルを利用し、
オンラインで手続きが出来る



進捗管理指標

届出件数

現状値

50件

目標値 (2030年度)

60件

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

市民税課

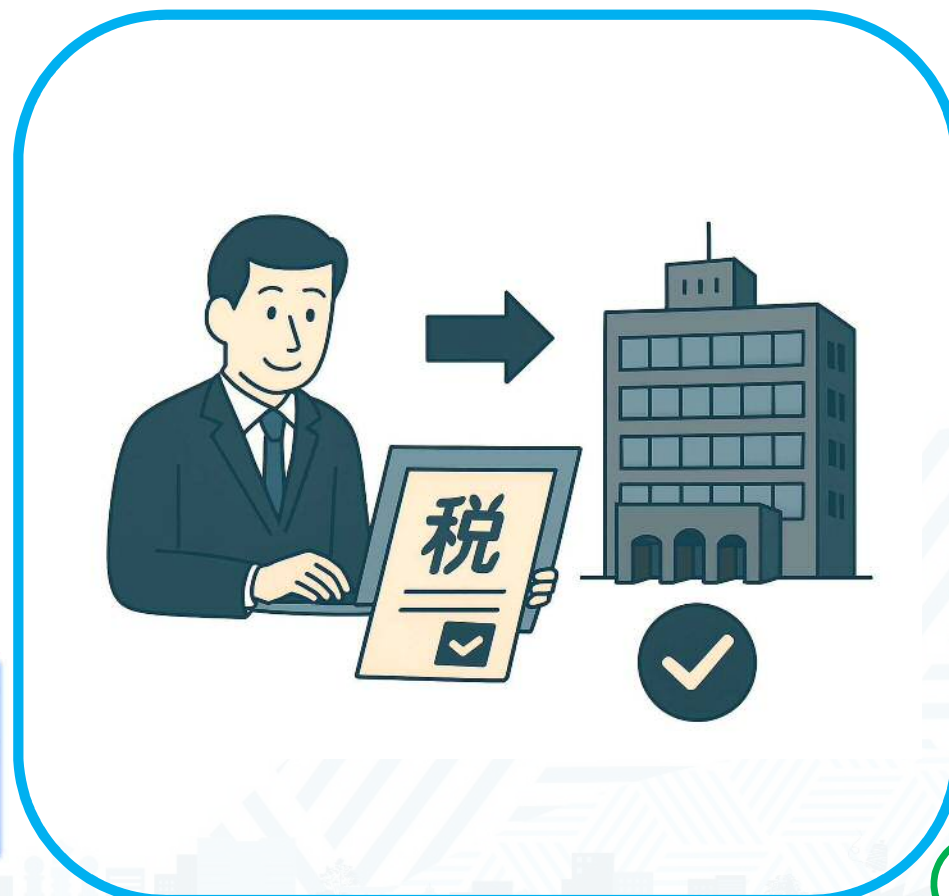
地方税共通システム（eLTAX）による電子申告

取組の方向性

地方税共通システムの利用促進による納税義務者等の利便性向上及び職員負担軽減

主な取組内容

給与支払報告書、法人市民税申告書、事業所税申告書等について、地方税共通システム（eLTAX）でのオンライン提出が可能



進捗管理指標
電子申告率

現状値
79.0%

目標値（2030年度）
84.0%

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

納税課、保険年金課、介護保険課、保育課、子育て支援課、子ども家庭相談課、住宅政策課、営業課

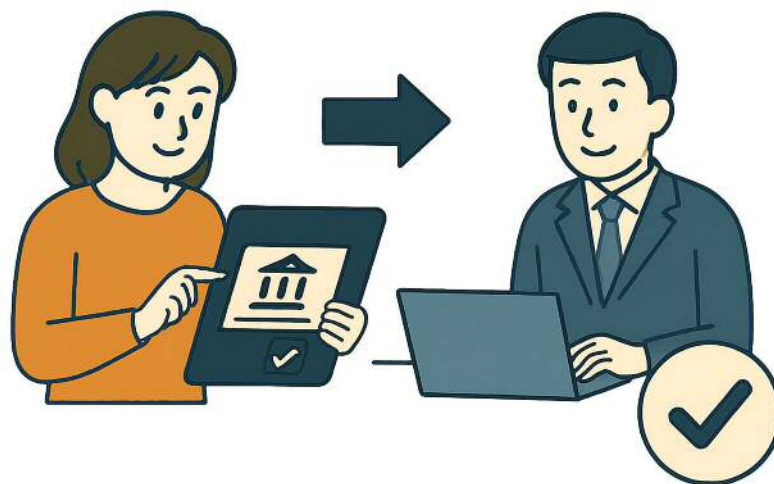
ウェブ口座振替受付サービス

取組の方向性

ウェブ口座振替受付サービスの利用促進による市民の利便性向上と職員負担軽減

主な取組内容

口座振替の申し込みから金融機関の承認までの手続きを、ウェブ上で印鑑レス・ペーパーレスで行える



進捗管理指標

サービス
利用件数

現状値

648件

目標値（2030年度）

2,000件

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

子育て支援課

138おやこ手帳アプリ

取組の方向性

138おやこ手帳アプリの利用推進

主な取組内容

イベント等の予約・申し込みがアプリからできる。また一宮市の子育て情報の入手や予防接種の管理等も容易にできる。



進捗管理指標

登録者数

現状値

6,000人

目標値（2030年度）

13,500人

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

健康支援課

妊娠届のオンライン化

取組の方向性

妊娠届のオンライン化を実施して
市民の負担軽減と利便性向上を目指す

主な取組内容

138おやこ手帳アプリを活用して妊娠届
をオンライン化する



進捗管理指標

妊娠届のオン
ライン利用率

現状値

—

目標値（2030年度）

80.0%

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

図書館管理課

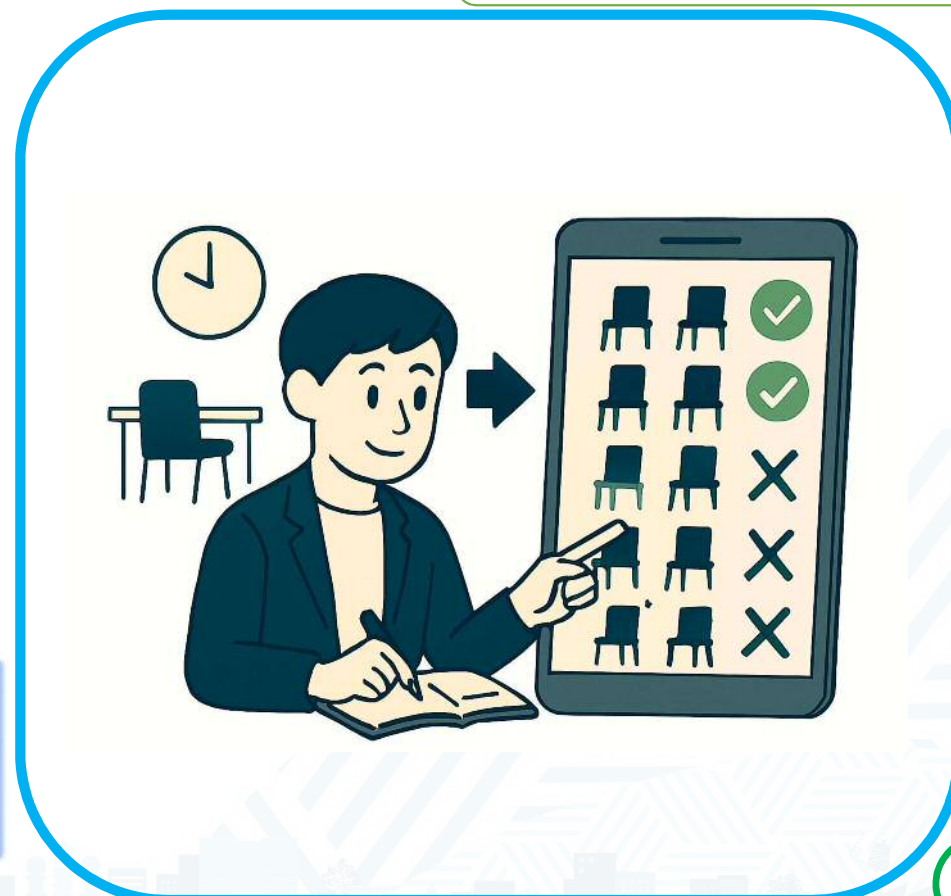
座席予約システム

取組の方向性

座席予約システムの利用推進

主な取組内容

中央図書館の学習室の空き状況をオンラインで閲覧及び予約できる



進捗管理指標
学習室利用の
WEB予約割合

現状値
35.0%

目標値（2030年度）
40.0%

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

図書館管理課

図書館公式LINE

取組の方向性

図書館公式LINEを開設し、図書館システムと連携させることで利用者の利便性向上を図る

主な取組内容

予約割当や延滞督促の連絡をLINEで行う



進捗管理指標

図書館公式
LINE登録率

現状値

—

目標値（2030年度）

20.0%

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

廃棄物対策課

一宮市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」

取組の方向性

一宮市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の利用促進

主な取組内容

ごみの分別区分や収集日を調べることができるスマートフォン向けアプリを公開しています。また、スマートスピーカー（一部の機種に限る）に対応し、音声による案内にも対応しています。



進捗管理指標

アプリ登録者数

現状値

34,000人

目標値（2030年度）

60,000人

2.2.3 個別施策

2.2.1.1 自治体フロントヤード改革の推進

公園緑地課
維持課、管路保全課

道路・公園等の損傷通報システム

取組の方向性

損傷通報システムの利用推進

主な取組内容

スマートフォンなどから公共物の損傷等を通報することができる。2023年度からは、道路及び公園の遊具、2024年度からは道路上の漏水及び管理不全の空き家の通報もできる。



進捗管理指標

緊急性が高い
ので指標なし

現状値

—

目標値（2030年度）

—

2.2.3 個別施策

2.2.1.2 地方公共団体情報システムの標準化

情報システム課

情報システムの標準化・共通化

取組の方向性

情報システムの標準化・共通化による
職員負担軽減

主な取組内容

標準化対象システム（20業務）において、
2030年度までに標準化移行を進めています。



進捗管理指標

標準化移行し
たシステム数

現状値

11/20

目標値（2030年度）

20/20

2.2.3 個別施策

2.2.1.4 公金収納におけるeL-QRの活用

情報システム課
会計課

公金納付書に地方税統一QRコード(eL-QR)を印字

取組の方向性

公金納付書にeL-QRを印字すること
による市民利便性向上

主な取組内容

税以外の公金支払いに使用する納付書に
地方税統一QRコードを印字することで、
公金支払いの選択肢の増加及び収納事務
の軽減を図ることができる



進捗管理指標

eL-QR利用の
公金数

現状値

—

目標値 (2030年度)

10

2.2.3 個別施策

2.2.1.5 マイナンバーカードの取得支援・利用の推進

市民課

マイナンバーカードの交付・電子証明書の更新

取組の方向性

マイナンバーカード交付及び電子証明書の更新による市民利便性向上

主な取組内容

マイナンバーカードの交付・電子証明書の更新を市役所本庁舎、尾西庁舎、木曾川庁舎で行い、いちのみや駅ナカプラザでは土曜日・祝休日に対応し普及及び利用の推進に努めています。



進捗管理指標

指標なし

現状値

—

目標値（2030年度）

—

2.2.3 個別施策

2.2.1.5 マイナンバーカードの取得支援・利用の推進

保険年金課、保健総務課、
障害福祉課

PMH (Public Medical Hub) 先行事業

取組の方向性

医療費助成等にマイナンバーカード活用
による市民利便性向上

主な取組内容

「医療費助成・予防接種・母子保健分野
等でのマイナンバーカードを活用したデ
ジタル化の推進 (PMH)」に参加し、
マイナンバーカードを医療費受給者証と
して活用することができます。



進捗管理指標

指標なし

現状値

—

目標値 (2030年度)

—

2.2.3 個別施策

2.2.1.7 自治体のAIの利用推進

情報システム課

生成AI、AIツールの活用

取組の方向性

生成AI、AI議事録作成システム、AI-OCR、AI多言語翻訳機による市民の利便性向上及び職員負担軽減

主な取組内容

生成AIの庁内利用を推進する。AIツールを活用して、議事録作成及びOCRによる帳票読み込みによる職員負担の軽減を図る。AI多言語翻訳機により外国人等の市民の利便性向上を図る。

進捗管理指標

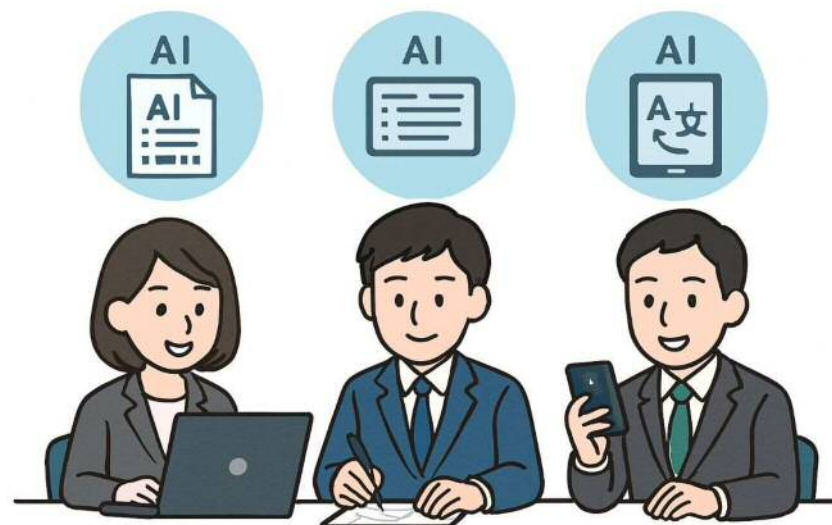
議事録作成業務削減時間

現状値

年109時間

目標値（2030年度）

年300時間



2.2.3 個別施策

2.2.1.7 自治体のAIの利用推進

市民税課

AI電話自動応答サービス

取組の方向性

AI電話自動応答サービスによる市民の利便性向上及び職員負担軽減

主な取組内容

市民税・県民税申告相談会場の予約受付において、24時間対応可能なAI電話自動応答サービスを実施している。



進捗管理指標
AI電話予約率

現状値
25.4%

目標値（2030年度）
30.0%

2.2.3 個別施策

2.2.2.1 DX人材の確保・育成

情報システム課

DX人材育成計画

取組の方向性

自ら庁内DXを推進する自立型DX人材を育成する研修を実施する

主な取組内容

ICTリーダー、ICTマネージャーにDX推進のための研修を実施し、情報リテラシーを身につけた自立型DX人材を育成

進捗管理指標
DX推進研修
延べ受講者数

現状値
215人

目標値（2030年度）
500人



2.2.3 個別施策

2.2.2.2 データ駆動型行政組織への転換

地域DX戦略室

データ連携基盤の利活用

取組の方向性

データ連携基盤とポータルサイト「イチ・デジ」による市民の利便性向上

主な取組内容

様々なデータを横断的に収集、連携が可能なデータ連携基盤（都市OS）を導入し、市が提供しているアプリ、システムなどとデータ連携が可能なポータルサイト「イチ・デジ」を公開した。



進捗管理指標

ID登録数

現状値

14,350件

目標値（2030年度）

30,000件

2.2.3 個別施策

2.2.2.3 最新技術の活用

地域DX戦略室

スマートロック（電子錠）の導入

取組の方向性

スマートロックの導入による市民の利便性向上

主な取組内容

市内全ての小中学校の体育館、武道場にスマートロックを導入。連携した施設予約システムから携帯電話に届く暗証番号で、解錠することができる。



進捗管理指標

利用満足度

現状値

—

目標値（2030年度）

4.3

2.2.3 個別施策

2.2.2.3 最新技術の活用

消防救急課

災害時ドローンの利用

取組の方向性

災害時ドローンを利用して、消防活動に活用する

主な取組内容

撮影したライブ映像を現場指揮本部と情報共有及び撮影した映像データの提供をさせ、事後の活動検証等の教養資料として使用している。



進捗管理指標

指標なし

現状値

—

目標値（2030年度）

—

2.2.3 個別施策

2.2.2.3 最新技術の活用

道路課

AI舗装診断システムの活用

取組の方向性

傷んだ舗装の損傷程度をAI解析するAI舗装診断システムを活用する

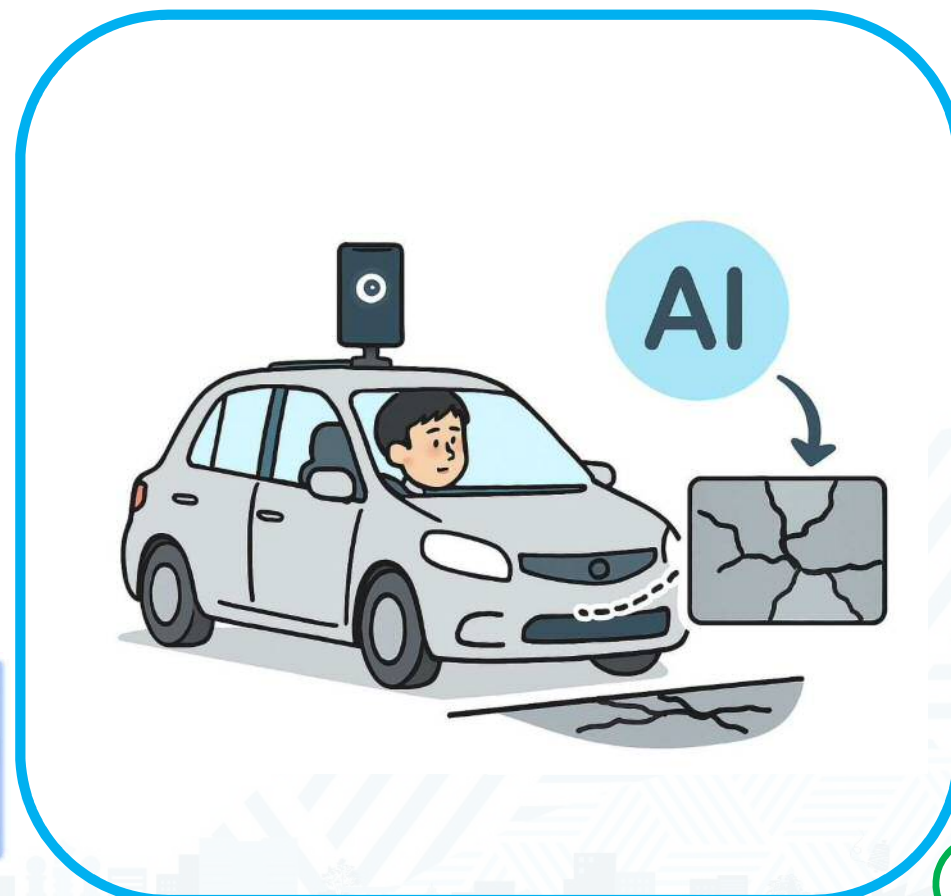
主な取組内容

車両にスマートフォンを搭載し、連続撮影した画像から道路の路面状態をAI解析で自動判定し、効率的に修繕する

進捗管理指標
修繕予定路線の
AI舗装診断実
施率

現状値
100%

目標値（2030年度）
100%



2.2.3 個別施策

2.2.2.4 その他個別施策

広報課

分かりやすい情報発信

取組の方向性

ターゲットを意識した分かりやすい情報発信を継続する

主な取組内容

市公式ウェブサイトや各種SNSでの情報発信を分かりやすくするよう努める。また、災害などの緊急時でも迅速かつ正確な情報発信を意識して対応する。



進捗管理指標

市公式SNSの
投稿数

現状値

32,045件

目標値 (2030年度)

38,450件